



豊橋市立花田小学校 創立150周年

創立 明治6年（1873年）

沿革と概要 10年間の歩み

2014年～2023年



花田小学校創立150周年記念事業実行委員会

愛知県豊橋市西羽田町247番地

電話 0532-31-4517

FAX 0532-34-1688

E-mail hanada-e@toyohashi.ed.jp

URL <http://www.hanada-e.toyohashi.ed.jp>

平成26年度（2014）

- 7月 市内陸上競技大会 男子総合5位
- 10月 市内球技大会 男子バスケットボール部 準優勝
穂の国とよはし芸術劇場PLATにて芸術鑑賞会を開催
- 11月 牟呂用水浄化活動（羽田中学校と合同）
- 12月 雪が積もった運動場で雪遊び
- 3月 ユネスコスクール認定証受領

◆ 芸術鑑賞会 平成25年度にオープンした、穂の国とよはし芸術劇場PLATで芸術鑑賞会を行いました。舞台装置の整った新しい会場で、劇団うりんこによる「ぼくはにんじやのあやし丸」の演劇を楽しみました。



牟呂用水浄化活動



雪遊びに夢中

平成27年度（2015）

- 9月 三校合同引き取り訓練
- 10月 愛知県警察音楽隊の演奏を鑑賞
市内球技大会 男子バスケットボール部 優勝
- 12月 市内駅伝大会 男女混合の部 5位
- 1月 暴風雪警報により市内一斉臨時休校

◆ 暴風雪警報 豊橋市に「暴風雪警報」が発表され、市内小中学校は一斉臨時休校となりました。運動場は一面真っ白になりました。数日後、プールに氷が張り、生活科の学習で低学年がその様子を観察しました。



優勝した男子バスケットボール部

平成28年度（2016）

- 4月 豊橋市教育委員会より研究委嘱を受ける
- 6月 「豊橋・学校いのちの日」の取り組み
アイリッシュハーブ奏者・永山友美子氏のお話と演奏を聴く
児童会が熊本地震の災害義援金を贈る
- 11月 「こころの花放送局」始まる

◆ こころの花放送局 平成25年度から始まった「こころの花運動」をさらに充実させるために、「こころの花カード」を友達と贈り合う活動と、友達のよさを投稿したカードを、放送委員が昼の放送で紹介する「こころの花放送局」の放送が始まりました。



アイリッシュハーブを弾く体験



花田小プールにようこそ

平成29年度（2017）

- 10月 文化庁主催「文化芸術による子どものための育成事業・劇団『俳小』の実技指導と鑑賞会
12月 市内駅伝大会 男女混合の部 優勝



手筒花火づくり体験学習

◆ 「俳小」による実技指導と鑑賞会 事前のワークショップで代表児童が役者として参加し表現方法を学び、劇を創り上げる楽しさを味わいました。プロの演技を観るだけではなく、劇中歌を「今月の歌」で練習し、当日は劇団員と一緒に歌いました。鑑賞する児童も楽しむことができました。



優勝した男女混合チームと駅伝部

平成30年度（2018）

- 8月 市内水泳競技大会 女子総合優勝
10月 豊橋市教育委員会委嘱・研究発表会
「こころ豊かに、未来をたくましく生きぬく花田っ子の育成
～花田小カリキュラムの創造を通して～」
市内球技大会 女子バスケットボール部 準優勝
12月 市内駅伝大会 女子の部 優勝



研究発表会・全体会

◆ 研究発表会 「こころの教育」研究発表会を開催しました。当日は、市内・市外の約600名の教職員や市教育委員会の関係者、PTAの方々に参加していただき、平成28年度より取り組んできた研究成果を発表しました。



仲間を応援する水泳部員

平成31年度・令和元年度（2019）

- 6月 最後の市内陸上競技大会
8月 最後の市内水泳競技大会
12月 市内駅伝大会 男女混合の部 4位
2月 普通教室・特別教室にエアコン設置
3月 全国すべての公立学校が臨時休業となる



◆ 全国一斉の臨時休業 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3月2日から修了式まで臨時休業となりました。卒業式は、卒業生と保護者のみが参加し、マスクの着用や合唱をしないなどの感染予防対策を徹底して行いました。



◆ 部活動の廃止 市の「新たな3学期制」の導入と新学習指導要領全面実施に向けて、段階的に小学校部活動が廃止されることになりました。陸上競技大会は翌年に廃止予定でしたが、感染拡大防止のため中止となり、令和元年度が最後の大会になりました。



学芸会

- ・器楽合奏
- ・音楽部演奏
- ・劇の発表

令和2年度（2020）

- 4月 「新たな3学期制」開始 7日から5月31日まで臨時休業
陸上部・水泳部・音楽部（部活動）廃止
- 6月 3日から通常日課による授業を再開
- 7月 31日に1学期終業式を行う
- 8月 夏休みは8月1日～16日に短縮 17日に2学期始業式を行う
- 10月 最後の市内球技大会（10ブロックで交流戦。市大会は中止）
- 11月 花田スポーツフェスティバル開催
- 12月 修学旅行（山梨県方面）
- 3月 全児童にGIGAタブレット端末を貸与



グループ活動では飛沫防止のパーテーションを設置



修学旅行（山梨県方面）

- ◆ 2学期制から3学期制へ 2学期制（豊橋市で2007年度導入）から、1学期を「基礎」、2学期を「充実」、3学期を「発展」という学びのステージを位置づけた「新たな3学期制」が導入されました。
- ◆ 臨時休業と学校再開 5月18日から全校の半数が交代で登校し、短縮授業を行いました。その後、6月3日から通常日課での授業を再開し、学校で花田っ子の元気な声が聞かれるようになりました。
- ◆ 感染予防の徹底 感染予防のために、マスク着用・手洗い（消毒）・うがいの励行などを徹底し、これまでの学習スタイルや行事のもち方を工夫しました。野外教育活動は中止となり、修学旅行は県内の感染者が少ない山梨県方面に変更しました。運動会は「花田スポーツフェスティバル」と名称を変え、半日開催としました。種目を精選し、学年団ごとに練習の成果を発表しました。

令和3年度（2021）

- 4月 バスケットボール部・サッカー部・駅伝部廃止
- 5月 野外教育活動（日帰り）
- 8月 リモート出校日
- 9月 花田Tシャツ作成（PTA）
- 11月 修学旅行（山梨県方面）
- 1月 運動場にマンホールトイレ設置
- 2月 リモート授業参観 北校舎トイレの大規模改修工事



修学旅行（山梨県方面）

- ◆ 校内放送のデジタル化 新型コロナウイルス感染症対策予算を活用し、校内放送のデジタル化と他教室から校内LANを通して中継できるシステムを整備しました。これにより、体育館や運動場から各教室へテレビ中継が可能となりました。



花田Tシャツ

- ◆ WEB会議アプリの活用 授業の様子を動画配信し、家庭で授業参観ができるようになりました。また、夏休みの出校日の一日をリモート出校日とし、担任は各家庭にいる児童に対して、出欠確認や健康安全に関わる連絡をしたり、クイズを出題したりしました。これ以降、コロナによる自宅療養や自宅待機等の児童に向けてオンライン授業を配信し、学習支援ができるようになりました。
- ◆ マンホールトイレの設置 運動場南側の地中にマンホールトイレが8基設置されました。学校が避難所となった場合に、プールの水を利用して排泄物を下水道に流す設備が整備されました。

令和4年度（2022）

- 6月 水泳指導再開（3年ぶり）
- 9月 市事業「のびるん de スクール」始まる
- 10月 羽田中学校2年生と合同挨拶運動
- 1月 「花田キッズ」の復活（テレビ放送）
- 2月 学校創立150周年記念の横断幕作成
学習発表会（学芸会から変更）



羽田中2年生と
合同挨拶運動



ペア学年で作成した横断幕（三幕作成）

◆ 水泳指導の再開 指導者はマスクを着用し、児童は互いのタオルが接触しないようにタオルを袋に入れてプールサイドにかけるなど、最大限の感染予防対策をしながら3年ぶりの水泳指導を再開しました。児童は水慣れの練習から楽しそうに取り組み、プールから久しぶりに歓声が響きました。

◆ 新「花田キッズ」 本年度から各自のタブレット端末で自主制作した動画を全校放送で流す方法にしました。当初は感染予防対策でしたが、実践してみると「けん玉」「リフティング」「グループでの音楽演奏」など、個性的な動画が多く集まりました。このため以前のように体育館では行わず、この方法を継続しました。放送のたびに全校から歓声が上がり、温かい拍手が送られたりしています。

◆ 学校創立150周年記念の横断幕 「輝く笑顔いっぱいの花田小学校」をテーマに、全校児童が思い思いに「輝く笑顔の自分」をイラストで表現し、さらに6年生実行委員会が手筒花火や公園の花々など校区の特色をイラストで表現しました。翌年4月、完成した横断幕は東西フェンスに設置し、式典の開催日を知らせするとともに、花田っ子の輝く笑顔を校区の方々に見ていただきました。

令和5年度（2023）

- 5月 新型コロナウイルス感染症が5類感染症になる
花田スポーツフェスティバル（全児童が運動場で参観・応援）
- 6月 創立150周年記念の航空写真撮影
- 9月 「ラーケーションの日」の取得が始まる
- 8月 花田小創立150周年まつり（PTA主催・4年ぶり）
- 10月 南校舎改修工事に向けたプレハブ校舎の建設が始まる
- 11月 鈴木明子氏の講演とふれあいスケート教室開催 学校創立150周年記念式典開催（18日）
学校旗を新調（50年ぶり） 「県民の日学校ホリデー」により24日が学校休業日となる



全員で作った「夢」と花だんご

◆ 航空写真の撮影 漢字「一字」をデザインの中心にすることに決め、全校で考えました。候補にあがった漢字は「花」・「心」・「夢」・「絆」。タブレット端末を使って全児童が投票した結果、「夢」に決まりました。「夢」には、「一人一人が夢に向かってほしい」「花田小は夢いっぱいの学校」「150周年以降も夢のつながる学校に」という願いが込められています。

◆ 花田小創立150周年まつり PTA主催の「納涼夏まつり」が「花田小創立150周年まつり」として4年ぶりに行われました。当日は多くの児童や卒業生、保護者や地域の方々に参加をし、スピードガンによる球速測定や水ヨーヨー祭り、記念写真コーナーでの撮影などを楽しみました。フィナーレのヨウカン花火や打ち上げ花火が夜空を輝かせました。



花田小創立150周年まつり

「不易と流行」を踏まえた教育活動の充実

令和元年度の新型コロナウイルスの感染拡大により、学校生活や教育活動はその対応を余儀なくされました。子どもたちは家庭で検温をし、マスクを着用して登校しました。学校では、対面式のグループ学習や歌唱、リコーダーの演奏などを中止し、給食時は前向きで黙食することになりました。このような感染拡大防止対策を行う中で、これまで当たり前のように行ってきた教育活動の価値やその大切さを実感するとともに、「子どもの学びを止めない」を合言葉に、教育活動を工夫し実践しました。



一方、このような状況を改善すべく、国のGIGAスクール構想によるタブレット端末の貸与が大きく進展し、令和3年度から花田小学校でも本格的に活用できる環境が整いました。これにより、「個別最適な学びと協働的な学び」を推進できるようになりました。また、家庭で授業を受けたり、子どもが各自のタブレット端末で児童会のアンケートに回答したり、学校のおたよりや児童会だよりをタブレット端末に転送し、閲覧したりすることもできるようになりました。

令和5年5月、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類となりました。学校では引き続き、子どもたちの健康管理の徹底と基本的な感染予防対策を継続していきます。その上で、「不易」なものとして連綿と続く「誦習の学び」を教育の中心に据え、「流行」としてのタブレット端末や学校のLAN環境などを活用し、「何を育成するための学習なのか」、「子どもにとっての価値は何か」を常に考えながら、花田小学校の教育活動のさらなる充実を図っていきます。

児童数・学級数の推移

